

## 事業場排水実態調査 (補足事項)

### 排水処理の目的

業 種	亜鉛の排出源	排水処理の主目的
化学工業その 1	紡糸工程における硫酸亜鉛浴後の洗浄水 (レーヨン・アセテート製造業)	凝集沈殿処理(硫酸マグネシウム、高分子凝集剤) ・主にSSの除去 活性汚泥処理 ・主にCODの除去
鋳 業	主に鋳山浸出水、堆積場からの浸透水	凝集沈殿処理(消石灰) ・主にCd、Fの除去

### 冷却水等の合流の影響(希釈等)

業 種	亜鉛濃度の低減状況
化学工業その 1	排水処理前の亜鉛濃度 50 ~ 150mg/l に対し、処理後は 3mg/l 程度であり、この段階で排水基準値を既に下回っている。 その後、他の排水が合流し排水量が増加(10 倍)。その結果、濃度がさらに 1 オーダー低下。
鉄鋼業	排水処理前の亜鉛濃度 50 ~ 90mg/l に対し、処理後は概ね 0.5mg/l 未満であり、この段階で排水基準値を既に下回っている。 その後、冷却水等が合流し、濃度がさらに低下。

### 温水ブローに含有する亜鉛の影響

業 種	亜鉛の排出源	温水ブローの影響
化学工業その 2	温水ブロー(循環水)に導管腐食防止剤として添加する塩化亜鉛	処理水の濃度はNDであるが、その後、温水ブロー(0.6mg/l 程度)と冷却水(ND)が混入し、排水の濃度が若干上昇(0.1mg/l 未満)。

### 鋳業の排水の特徴

業 種	亜鉛濃度の低減状況
鋳 業	凝集沈殿後の濃度が他の業種に比べて高い原因としては、鋳山浸出水、堆積場からの浸透水等の濃度が高いこと等が影響している。 (工程排水は 0 . 1 mg/l 未満)